

## 「施策」総括票

施策展開	1-(5)-ア	文化資源を活用したまちづくり	
施策	①地域文化資源の発掘及び相互交流の推進		54頁
対応する 主な課題	○文化資源は人々を魅了し惹きつける力を持っているが、こうした文化資源の持つ様々な価値や魅力に地域の人々が気づかないことも少なからずあるため、地域外との交流を通じて地域文化の掘り起こしを図っていく必要がある。		
関係部等	文化観光スポーツ部		

### I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度			
	主な取組	決算見込額	推進状況
1	地域の伝統文化継承支援事業	6,188	やや遅れ
2	市町村文化行政との連携強化	-	順調

○県内各地域で実施されている伝統行事、伝統芸能、しまくとぅばの取り組み等の情報収集を行ったほか、文化講演を2回実施し、165名に参加頂いた。予定していた沖縄県文化年鑑の作成は、作業スケジュールとして、まずは情報収集等を行うこととしたため、やや遅れとなった。(1)

○平成24年6月に開催した市町村文化行政連絡会議において、平成24年度の県の主な施策を周知し、文化行政に対する理解を深めその円滑な推進を図った。(2)

### II 成果指標の達成状況 (Do)

#### (1) 成果指標

	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数	521人/年 (23年度)	40,593人/年 (24年度)	1,000人/年	40,072人	-
	状況説明	各市町村ごとにその特色を生かした文化事業やイベントが徐々に増え、地域の活性化につながりつつある。また、成果指標の大幅な改善については、「キジムナーフェスタ」39,765人の影響が大きくなっている。				

様式2(施策)

(2)参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
文化講座の参加者数等	-	-	165名 (24年)	-	-

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

- ・沖縄県文化年鑑の作成については、多岐に亘る文化財や文化団体等の全体像を把握するため、作業スケジュールとして、まずは情報収集等を行い、次年度以降に年鑑作成を行う。
- ・地域の伝統行事などを掘り起こすため、市町村指定の無形文化財以外の文化資源調査が必要である。
- ・市町村文化行政との連携強化においては、主に県の文化行政施策を伝達するための会議でしかなかったため、市町村との情報交換が必要である。

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

- ・地域の伝統文化資源には魅力や価値がありながらも、継承者の不足や、地域内外での交流機会の減などを要因に、衰退する可能性のあるものが存在する。

Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

- ・沖縄県文化年鑑の作成については、作業スケジュールとして、まずは情報収集等の作業を行い、多岐に亘る文化財や文化団体等の全体像を把握した上で、年鑑作成は次年度以降に検討する。
- ・市町村指定の無形文化財以外の文化資源調査に向けた取組として、各市町村と調整会議等を開催し、情報提供の依頼や今後の保護活動方針を協議する。
- ・地域の文化資源の継承・保存のため、地域の伝統行事等を発信する舞台公演の機会を与え、地域活力の原動力とするほか、継続的に各地域の伝統行事等の情報収集を行い、観光客誘客などにも活用し、伝統行事等の情報発信を観光関係機関と連携して取り組む。
- ・市町村文化行政連絡会議においては、市町村における文化事業への取組についての現状や今後の展開についての県との意見交換や市町村間の情報交換の機会を作っていく。